

平成26年7月6日
今週のベストショット



奈多グラウンド 三友クラブ 対 ブルーマーリンズ戦

投手としてもノーヒットピッチング、打っても三塁打を放つ活躍を見せ笑顔の三友クラブ福山選手。

写真：三苦三球会 中村 元

青松園A パイレーツ持ち前の打力を発揮し快勝！

新町パイレーツ (2勝3敗) 00624 12 吉田○ー山本、桐島

ソルトベスターズ (2勝5敗) 10300 4 中村(耕)●、中村(祐)ー酒井

2BH：桐島、中島、吉田、大濱、牟田(新町パ) 盗塁：桐島(新町パ)、中村(健)、八柄、坂本(ソルト)

パラパラと小雨が降る中始まったこの試合。先攻の新町パイレーツは、初回三者凡退であっさりと攻撃を終えると、その裏のソルトベスターズはエラーで出塁した八柄選手を四番中村(耕)選手がライト前ヒットで返す。二回の攻撃は、共に無失点で切り抜ける。試合が動いたのは三回からだ。パイレーツは一死から、桐島、中島、吉田選手の三連続二塁打など打者一巡の猛攻で6点を奪う。一方その裏、ソルトは相手のミスとヒットで3点を返す。しかし、四回に2点そして五回にも4点を加え、ソルトの反撃を許さなかったパイレーツに軍杯が上がった。パイレーツは、守備のミスが目立ち3安打しか許していないものの4失点と今後の課題が頭を覗かせた。「攻撃は最大の防御なり」、まさにそう伺わせる試合展開であった。(写真、記事：三苦ホーネッツ 洲上祥太)



小雨の降る中整列、挨拶。



ソルトベスターズのエース中村(耕)選手。



ソルト打線を3安打に抑えたパイレーツ吉田投手。



一回表、先制タイムリーのソルト中村(耕)選手。



一回裏、同点のホームイン、パイレーツ桐島選手。



バントで揺さぶるソルト八柄選手。



五回表、クロスプレー!アウトッ!



ゴロをさばくパイレーツ八坂選手。

奈多グラウンド 三友クラブ、大ベテランの活躍でブルーマーリンズを圧倒!

三友クラブ (1勝3敗1分) 5 6 7 2 20 福山○、足達一谷崎

ブルーマーリンズ (0勝5敗) 1 0 0 0 1 横山●、阿部一井上(広)

HR: 繁森(三友ク) 3 BH: 福山、坂本(三友ク) 2 BH: 駄原、柿崎、山本(三友ク)

盗塁: 駄原、広瀬、山本、坂本(三友ク)

先攻の三友クラブは、制球の定まらないブルーマーリンズ先発の横山投手を攻め、5点を先制。その裏、Bマーリンズも四球と相手WPで1点を返す。しかし二回に入っても横山投手のコントロールは戻らず、9個目の四球を与えたところで二番手阿部投手がマウンドへ上がるも流れは変わらず、この回も6点を献上。三回表、ここ

までは相手投手の球筋を見ていた三友クラブ打線が積極的に打って出る。7本の長短打を集中し大量7点を追加。さらに四回には三塁打で出塁した坂本選手を塁におき、代打繁森選手が中越えHRを放ち20点目を奪った。一方のBマーリンズ打線は、代わった足達投手から井上広大選手が打った安打が唯一の安打。三友クラブ福山投手はノーヒットピッチングに三塁打を含む2本のヒット。天晴れでした。（記事、写真：三苦三球会 中村 元）



ブルーマーリンズ先発 横山投手。



一回表、三友二番竹岡選手 送ったつもりがバントヒットに！



一回表、三友九番福山選手は綺麗にセンター前へ。



一回裏、Bマーリンズも相手のミスで1点を返す。



二回途中から登板したBマーリンズ阿部投手。



懸命に守るBマーリンズ井上広大捕手。



三回からは積極的に。七番山本選手の二塁打！



三友クラブ 福山選手の打球は！？



左中間を抜けて三塁打。塁上で笑みがこぼれます。



四回表、三友クラブの代打繁森選手がホームラン！



好投の福山投手の後をエース足達投手が締める。



四回裏、ブルーマーリンズ五番谷崎選手が意地の1本。



「代打 俺！」失敗のブルーマーリンズ小柳監督。



「肉離れかも・・・」ブルーマーリンズ尾田主将負傷交代。



三友クラブ先発福山投手 ノーヒットピッチングに三塁打はお見事！

雁レクD 四死球が…。

雁ノ巣ライナーズ（4勝2敗）000000 0 鳥越●、有馬一吉田

奈多サンデーズ（5勝1敗）03010× 4 塚本○ー長浜

3BH：大川（奈多サ）

予報より早く雨模様となってきた雁レクDでは、両先発が対照的な立ち上がりを見せた。初回到死球、二回に内野安打、三回に失策とランナーを出すものの、残りを抑えた奈多サンデーズ塚本投手に対し、雁ノ巣ライナーズの鳥越投手は初回到3個、二回到5個の四死球を与え、3点を先制されてしまう。雨の影響か、いつもの球威・制球が見られない鳥越投手は、三回裏の先頭打者に9個目の四死球を与えた時点で岩崎監督から交代を告げられた。ライナーズも毎回走者を出すものの、あと1本が出ない。特に二回表、無死二塁で六番久保田選手が放った一打が、守備位置を左翼線に変更していたサンデーズ鳥羽左翼手に好捕されたのが痛かった。ここで先制出来ていれば、試合の流れは変わっていたかもしれない。鳥羽選手は、四回表一死一塁の場面で、再び久保田選手の打球を好捕し、ベンチの賞賛を浴びた。堅守で有利に試合を進めていたサンデーズは、五回裏に四球の走者を一塁におき、二番大川選手が中堅越えの大飛球を放つ。このときセンターが捕球できると勘違いした走者を打者走者が追い越しそうになり、二人がほぼ同時にホームに駆け込むという珍しいプレーが発生した。（前走の川上選手はセーフ、打者走者の大川選手はアウト）大川選手は本塁打を1本失ったが、両チームにとって重い1点がサンデーズに追加された。ライナーズも最終回到中口選手がセンター前を放つが、得点を挙げるまでにいたらず、終わってみると雨中でありながら毎回の6三振、被安打3で完封した塚本投手の好投が際立った一戦となった。

（記事：塩浜ジャガーズ 高嶺信彦、写真：松下照夫）



アウト？セーフ？サンデーズ大川選手



調子が今ひとつ？サンデーズ木下選手。



意外に素早い？ライナーズ吉田選手。



最終回到、センター前を放つライナーズ中口選手。



試合観戦に来た未来の和自リーガー。

青松園B 完封でレッドサンデーズが勝利！

新町ウインズ (3勝3敗) 0 0 0 0 0 0 大久保●、城戸ー今林、長渕

レッドサンデーズ (3勝1敗) 5 1 1 0 × 7 江口○ー荒口

2BH：八島、江口(レッド) 盗塁：長岡(新町ウ)

一回表、一、二番の連続四球で珍しく安定感を欠くレッドサンデーズ江口投手。逆にWPと盗塁で無死二三塁のチャンスを得る新町ウインズ。しかし、さすがの江口投手は後続の2人を連続三振に切り、五番野中選手をショートライナーに打ち取りピンチを凌ぐ。その裏、ウインズは本来の投手が間に合わず、大久保投手がタイミングを外す下投げで応戦。しかし、レッドの各打者はボールを最後まで引きつけると、相手失策も味方につけ、打者一巡で一挙5点を先取。二回裏、打者でも活躍する江口投手が本日マルチ安打となる二塁打を放ち、2点目も奪い勢いつける。江口投手は、最後まで投げ切り2安打完封勝利を挙げ、投打にわたって活躍。ウインズは唯一、安藤選手がマルチ安打を放つが、江口投手に阻まれてしまった。(記事、写真：三苦フレンズ 肥喜里一征)



二回表、レッド江口選手が左中間へ二塁打を放つ。



二回裏、安定しだしたウインズ長岡遊撃手の守備。



二回裏、1点に凌いだナインを迎えるウインズベンチ。



三回裏、あわや接触のウインズ野中選手、泉選手。



三回裏、レフトへ抜ける安打のレッド壱岐選手。



三回裏、代打で必死に走りセーフをもぎ取るレッド田村選手。



四回表、躍動感あふれるスイングの野田選手。



五回表、足を最大限に生かし内野安打となる安藤選手。



五回表、必死に足を延ばすレッド稲又一塁手。



完封で試合を締めるレッド江口投手。

第10週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第10週、7月6日は4試合が行われました。

青松園Aの新町パイレーツ対ソルトベイスターズ戦は、連勝したいパイレーツが先制を許すものの、三回生野見事な集中打で12-4の逆転勝利。中でも三回表のDBを挟んでの四者連続二塁打は圧巻でした。隣のBグラウンドで試合していた私も感心したものです。しかし、その裏にソルトも三点を返し、盛り上がりを見せてい

たが、終わってみれば一安打を放ったパイレーツの圧勝だった。

奈多グラウンドの三友クラブ対ブルーマーリンズ戦は、三友打線の爆発と、ブルーマーリンズ投手陣の13四球という制球力の無さから20-1で三友クラブの爆勝。福山選手をはじめとする三友クラブのベテラン勢の活躍が印象に残る試合だった。

雁レクDの雁ノ巣ライナーズ対奈多サンデーズ戦は、初回から3四球と制球に苦しむライナーズ鳥越投手をWプレーで捕まえ損なったサンデーズだが、二回にはヒット1本ながら5四死球もあり、3点を先制すると、後は塚本投手が三塁を踏ませたのは1人という3安打完封で強敵ライナーズを1-4で破った。サンデーズは、二番大川選手と三番秋山選手の2安打しか放っていないが、ここぞという場面での打点を挙げる一打は大きい。守備で活躍した鳥羽選手は、転勤先の武雄からソフトボールのために帰ってきている甲斐がありましたね。一方、本格的な夏を前に、2連敗したライナーズの巻き返しは投手陣の立て直しに懸っている。

青松園Bの新町ウインズ対レッドサンデーズ戦は、投手不在のウインズに対して、レッド打線が初回から襲い掛かり、5点を先制すると、二、三回と着実に1点ずつ加点した。投げてはレッド江口投手がウインズ八番安藤選手の2本の内野安打のみに抑え、0-7でレッドが快勝。ウインズの安藤選手の足の速さとバッティングコントロールは見事だったが、その安藤選手を二塁で刺したレッド荒口捕手の送球は完璧だった。

博多祇園山笠も15日の追い山でフィナーレを迎え、梅雨が明ければ本格的な夏本番ですね。

WSLの選手の中にも山笠に参加していた選手がいたようで、そのエネルギーを是非とも還元してほしいです。

私も引っ越して、山笠の地区（土居流だと思います）になったので、来年は参加してみたいものです。

皆さんも校区の夏祭りがあるでしょうから、ソフトボールの活躍を地域に還元して盛り上げて下さいね！